

横 手	横 手 市	216	2	0.9	232	88	14.2	232	7	3.0
	増 田 町	73	3	4.1	73	4	5.3	73	3	4.1
	平 鹿 町	103	1	1.0	103	17	16.5	103	7	6.8
	雄 物 川 町	91	0	0	91	20	22.0	91	3	3.3
	大 森 町	58	3	5.2	58	9	15.5	58	8	13.8
	十 文 字 町	96	1	1.0	96	13	13.5	96	9	9.4
	大 雄 村	41	0	0	41	13	31.7	41	6	14.6
湯 沢	稲 川 町	76	3	3.9	76	8	3.9	76	6	7.9
	雄 勝 町	136	2	1.5	136	17	12.5	136	8	5.9
	東 成 瀬 村	1	0	0	4	2	50.0	4	2	50.0
	皆 瀬 村	30	4	13.3	30	15	50.0	30	6	20.0
計		2167	48	2.2	2009	407	20.8	2007	177	8.8

表9 調 査 対 象

	男	女	計
児童相談所登録の精薄児	235人	170人	405人
重症身心障害児 (特別児童扶養手当受給)	150	107	257
計	385	277	662

4) 不幸な子供をうまない運動に関する調査

41年度に集録した重症・心身障害児カードを中心にその出生児の父母の年令との関係を調査した。その概略は調査研究に記載。

5) 衛生教育に関すること

本県母子衛生向上の目的で、保健所、市町村報導関係等に資料の提供、講習会、講演、相談等を行なった。

a) 講演、講習会

4月11日：石沢地区(本荘市)婦人学級
「不幸な子供を生まない運動」
6月13日：県中央地区助産婦保健研修会(公衆衛生課)本荘市
「母子衛生について」
6月15日：県南地区助産婦保健研修会(公衆衛生課)大曲市
「母子衛生について」
6月26日：全県国保保健婦研修会(保健課)県正庁
「3才児検診と精神発達調査」
7月13日：北海道・東北ブロック助産婦研修会(日本助産婦会秋田県支部)秋田市
「シンポジウム訪問指導の実態と問題点」

7月19日：太田村婦人学級
「不幸な子供をうまない運動」
7月26日：羽後町婦人学級
「不幸な子供をうまない運動」
8月24日：五城目保健所管内公衆衛生大会
「不幸な子供をうまない運動」
9月7日：東北精神衛生大会(秋田県精神衛生協会)岩手教育会館
シンポジウム「3才児検診」
10月30日：仙北地区社会教育大会(社会教育課)大曲市
パネル討議「大曲市・仙北郡の社会教育振興上、問題を究明し、その解決策はどうあればよいか」
11月17日：秋田市保戸野小学校P.T.A(秋田市教育委員会)
「発育と栄養」
12月5日：仙北村横堀地区若妻学級
「不幸な子供をうまない運動」

1月26日： 協和村婦人学級
「農村婦人の健康」
2月15日・20日： 保健婦学院
「秋田県における母子衛生の諸問題」
2月22日： 雄和村若妻学級
「不幸な子供をうまない運動」

b) ラジオ、テレビによるもの

4月12日： 春先の子供の健康 NHKラジオ
4月14日： 大掃除をむかえて NHKテレビ
5月10日： 農村婦人の健康 NHKラジオ
5月31日： 食中毒に御用心 NHKテレビ
6月 6日： つゆ時の健康 NHKラジオ
7月 6日： 夏やせ、夏ばて NHKテレビ
7月 8日： 夏の健康を守る運動 NHKラジオ
8月11日： 子供の発育と栄養 NHKラジオ
8月12日： 発育と栄養 NHKテレビ
9月 2日： 農繁期と主婦 NHKテレビ
9月 2日： 農繁期の健康 NHKラジオ
10月 2日： かぜについて NHKテレビ
10月 2日： かぜについて NHKラジオ
11月 4日： 温泉について NHKテレビ

12月 6日： お酒と肝臓 NHKテレビ
1月 6日： 高血圧 NHKテレビ
2月 5日： 胃ガンについて NHKテレビ
2月19日： 入学時の子供の健康 NHKラジオ
3月 4日： 耳を大切に NHKテレビ

6) 学会、その他

6月11日： 日本小児科学会東北地方会（秋田市）
「ビタミンD過剰症を惹起しないく
る病治療について」
6月25日： 第4回秋田県小児保健会総会（秋田
市）
「精神薄弱児の出生時における父母
の年令」
7月28日： 東北公衆衛生学会（青森市）
「障害児の出生児における父母の年
令」
4月22・23日： 大館地区血液型による遺伝学的調査
（ハワイ大学遺伝学教室より依頼）
11月21日： 国立公衆衛生院小児衛生学教室、船
川幡夫先生モデル地区指導（昭和町）
（以上 伊藤科長記）

(D) 環境衛生科の業務実績

昭和42年度1月～12月までの業務実績は次
のとおりである。

(1) 尿尿浄化槽放流水試験実績

昭和42年1月～12月まで秋田市、能代市、

横手市より依頼のあつた、尿尿浄化槽放流水、河
川水、下水道放流水の検体3種、13成分につき
試験した成績は表1に示すとおりである。

表1 試 験 成 績 表 単位：PPM

検査項目	採水地区	能 代 市	秋 田 市	横 手 市
水素イオン濃度(PH)		5.2 (2)		
浮 遊 物 質		165.7 (2)	6.96 (1)	
透 視 度		2.5 (2)		
蒸 発 残 留 物		582.0 (2)		
灼 熱 減 量		326.7 (2)		
4 時 間 酸 素 吸 収 量		884.0 (2)		2.18 (2)

生 物 学 的 酸 素 要 求 量			
アルブミノイド性窒素			8.01 (2)
塩 素 イ オ ン	101.21 (2)		
溶 存 酸 素	5.87 (2)		
アンモニア性窒素	3.78 (2)	3.04 (1)	124.52 (2)
油 類	68.20 (2)		

註 1. () 内の数字は検体数 2. 測定値は秋田以外は平均値

(2) BOD試験実績

昭和42年1月～12月まで湯沢工事事務所管内の5カ所, 秋田工事事務所の2カ所, および能代市, 横手市より依頼あつた検体についてBOD

試験を行つたが, その平均成績は, 下水道放流水を除いた外はいずれも基準内の数値であり, その成績は表Ⅱに示すとおりである。

表2 BOD試験成績表(検体別)

採水地区\検体種別	し尿消化槽放流水	河 川 水	下 水 道 放 流 水
湯 沢 工 事 事 務 所 管 内		1.36 PPM (5)	
秋 田 市		2.70 PPM (9)	
能 代 市	18.56 PPM (2)		144.16 PPM (2)
横 手 市	13.02 PPM (2)		

註 1. () の数字は検体数。 2. 成績は平均値である。

(3) 大気汚染調査実績

昭和42年11月16日～42年11月22日までの7日間, 厚生省の企画に基づく秋田県秋田地区環境大気調査を実施した。この調査は新産都市秋田地区における大気気象等の環境条件を把握し新企業立地, または工場拡張に伴う公害を未然に防止するための基礎資料を得ることを目的としたものである。

調査対象項目は, 気象観測, 亜硫酸ガス測定, 浮遊粉じんの測定であつたが, 秋田県衛生科学研究所が依頼された, 浮遊粉じん測定および亜硫酸測定についてであるが, 浮遊粉じん測定は, 資料のサンプリング操作を行ない分析については, 日本

環境衛生センターが担当し, 亜硫酸ガスについては, 秋田組合病院, 秋田県衛生科学研究所, 秋田県醸造試験場, 秋田県工業試験場, 秋田県農業試験場の各屋上に測定地点を設け1時間毎の測定を, 5日間に渡つて空気中のガスを吸収液にサンプリングし, その亜硫酸ガス捕集検液について当衛生科学研究所が担当し分析を行なつたので, その成績を, 表Ⅰ～表Ⅴに示す。

A 使用測定器	ハンディ・エア・サンプラー
B 測定条件	1.5 ℓ/m で50分間吸引
C 分析方法	ロザニン法

表I 大 気 汚 染 調 査 成 績

単位：PPM

測定地点 秋田県厚生農協連秋田組合総合病院

回数	月日 時間	42. 11.16	42. 11.17	42. 11.18	42. 11.19	42. 11.20	最 低	最 高	平 均
1	8.30～9.20	0.44	0.35	0.04	0.07	0.08	0.04	0.44	0.20
2	9.30～10.20	0.74	1.10	0.03	0.30	0.07	0.03	1.10	0.45
3	10.30～11.20	0.35	1.76	0.06	0.17	0.10	0.06	1.76	0.49
4	11.30～12.30	0.19	0.86	0.04	0.12	0.03	0.03	0.86	0.25
5	12.30～13.20	0.12	0.45	0.05	0.13	0.03以下	0.03以下	0.45	0.15
6	13.30～14.20	0.19	0.34	0.03	0.21	0.03	0.03	0.34	0.16
7	14.30～15.20	0.13	0.07	0.03	0.26	0.04	0.03	0.26	0.11
8	15.30～16.20	0.17	0.07	0.07	0.40		0.07	0.40	0.18
最 低		0.12	0.07	0.03	0.07	0.03以下	0.03以下		
最 高		0.74	1.76	0.07	0.40	0.10		1.76	
平 均		0.63	0.04	0.21	0.05	0.09			0.24

表II 大 気 汚 染 調 査 成 績

単位：PPM

測定地点 衛生科学研究所

回数	月日 時間	42. 11.16	42. 11.17	42. 11.18	42. 11.19	42. 11.20	最 低	最 高	平 均
1	8.30～9.20	0.48	0.13	0.15	0.11	0.14	0.11	0.48	0.11
2	9.30～10.20	0.33	0.13	0.05	0.18	0.08	0.03	0.33	0.15
3	10.30～11.20	0.19	0.13	0.03	0.09	0.03	0.03	0.19	0.09
4	11.30～12.20	0.36	0.14	0.03以下	0.06	0.05	0.03以下	0.36	0.12
5	12.30～13.20	0.03	0.18	0.03以下	0.17	0.04	0.03以下	0.18	0.08
6	13.30～14.20	0.19	0.06	0.03以下	0.11	0.04	0.03以下	0.19	0.08
7	14.30～15.20	0.40	0.07	0.03以下	0.09	0.03	0.03以下	0.40	0.13
8	15.30～16.40 (但し16日は 15.35～16.25)	0.07 0.08	0.09	0.08	0.41		0.07	0.41	0.13
最 低		0.03	0.06	0.03以下	0.06	0.03以下	0.03以下		
最 高		0.48	0.18	0.15	0.41	0.14		0.48	
平 均		0.26	0.12	0.04	0.15	0.07			0.13

表III 大 気 汚 染 調 査 成 績

単位：PPM

測定地点 秋田県醸造試験場

回数	月日 時間	42. 11.16	42. 11.17	42. 11.18	42. 11.19	42. 11.20	最 低	最 高	平 均
1	8.30～9.20	2.09	0.07	1.20	不検出	0.14	不検出	2.09	0.70
2	9.30～10.20	0.25	0.10	0.04	0.03	0.15	0.03	0.25	0.11
3	10.30～11.20	2.44	0.11	1.23	0.03以下	0.05	0.03以下	2.44	0.77

4	11.30~12.20	0.04	0.09	0.03以下	0.03以下	0.10	0.03以下	0.10	0.05
5	12.30~13.20	0.03以下	0.04	0.03以下	0.03	0.19	0.03以下	0.19	0.05
6	13.30~14.20	3.23	不検出	0.03	0.32	0.28	不検出	3.23	0.77
7	14.30~15.20	0.21	0.91	0.03以下	0.12	0.05	0.03以下	0.91	0.26
8	15.30~16.20	0.04	0.08	0.03以下	0.03以下		0.03以下	0.08	0.03
最低		0.03以下	不検出	0.03以下	0.03以下	0.05	不検出		
最高		3.23	0.91	1.23	0.32	0.28		3.23	
平均		1.04	0.18	0.31	0.06	0.14			0.34

表Ⅳ 大 気 汚 染 調 査 成 績

単位：PPM

測定地点 秋田県工業試験場

回数	月日 時間	42 11.16	42 11.17	42 11.18	42 11.19	42 11.20	最低	最高	平均
1	8.30~9.20	1.52	0.05	0.14	0.11	0.72	0.05	1.52	0.51
2	9.30~10.20	1.69	0.06	0.07	0.07	0.52	0.06	1.69	0.48
3	10.30~11.20	0.90	0.05	0.12	0.06	0.44	0.05	0.90	0.32
4	11.30~12.20	0.36	0.13	0.26	0.16	0.66	0.13	0.66	0.32
5	12.30~13.20	0.42	0.55	0.33	0.09	0.60	0.09	0.60	0.40
6	13.30~14.20	0.37	0.51	0.11	0.09	0.48	0.09	0.51	0.31
7	14.30~15.20	0.44	0.03以下	0.04	0.06	0.57	0.03以下	0.44	0.22
8	15.30~16.20	0.28	0.59	0.42	0.09		0.09	0.59	0.36
最低		0.28	0.03以下	0.04	0.06	0.44	0.03以下		
最高		1.69	0.59	0.42	0.16	0.72		1.69	
平均		0.75	0.27	0.19	0.09	0.57			0.37

表Ⅴ 大 気 汚 染 調 査 成 績

単位：PPM

測定地点 秋田農業試験場

回数	月日 時間	42 11.16	42 11.17	42 11.18	42 11.19	42 11.20	最低	最高	平均
1	8.30~9.20	0.33	不検出	0.04	不検出	0.11	不検出	0.33	0.10
2	9.30~10.20	0.10	"	0.12	"	0.16	"	0.16	0.08
3	10.30~11.20	0.27	0.03以下	0.12	0.03以下	0.62	0.03以下	0.62	0.20
4	11.30~12.20	0.30	不検出	0.06	不検出	0.20	不検出	0.30	0.11
5	12.30~13.20	0.15	0.34	0.08	0.03以下	0.54	0.03以下	0.54	0.22
6	13.30~14.20	0.19	0.04	0.16	不検出	0.25	不検出	0.25	0.15
7	14.30~15.20	0.19	0.03	0.15	"	0.14	"	0.19	0.10
8	15.30~16.20	0.11	0.08	0.12	"		"	0.11	0.06
最低		0.10	不検出	0.04	"	0.11	"		
最高		0.33	0.34	0.16	0.03以下	0.62		0.62	
平均		0.21	0.06	0.11	0.03以下	0.29			0.13

(E) 食品栄養科の業務実績

1) 秋田地方の山菜の成分分析

昭和42年調査区域は、仙北郡田沢湖町、仙北郡角館町、由利郡鳥海村、湯沢市、各地方で食用化しているもので前年度調査した以外の山菜12種類について行つた。保健所、農協、市町村役場、公民館の協力を得てなす。結果報告

2) 市販牛乳の脂肪、カルシウムの含有量調査

近時市販牛乳の愛飲家から、市販牛乳の乳臭味がないようで、薄いのではないかと言う声の下に抜打的に2ヶ月間化学分析す。結果報告

3) 市販ビニール袋詰の漬物の食塩含有量調査

生活繁雑と文化的と言う名のもとに最近スーパーマーケットでビニール袋詰の漬物が売出され、消費量も多い。しかしこれにはほとんど製造月日がない。漬物は保存食の一つとされていた時代には食塩の含有量が重要視された。ビニール袋詰の漬物の食塩の含有量を知ることが、保存と健康ということにも必要と思われる。結果報告

4) 秋田県産奨励品種水稻梗玄米の成分分析

第5報

昨年同様、県農業試験場と協力、秋田市仁井田南秋田郡飯田川町、由利郡仁賀保町、由利郡大内村、平鹿郡山内村、に育成収獲した水稻梗の成分分析し天候による品種の栄養価を調査す。品種、ハツニシヤ、4種、成分・水分・灰分・粗蛋白・粗脂肪・粗繊維・糖質・珪酸・カルシウム・鉄・燐・カロリー等。

5) 秋田県産奨励品種水稻梗玄米、白米の成分

分析 第6報

世紀の大事業と言われた八郎湯干拓農場も活動力が活発になつて来た昭和42年は史上最大の豊作と言われる恵れた年であつた。この農場に収獲された、水稻梗の含有成分を調査し土壌と併せて、今後の指針とするために行つた。(未発表)

6) 食品栄養科におけるその他の検査(依頼分)

昭和42年1月~同年12月迄、一般県民からの依頼による試験検査。種類、件数下表の通り。

S 4 2 食品栄養科に関する依頼検査件数及内訳

食 品 栄 養 科	4 2 1 月		" 2 月		" 3 月		" 4 月		" 5 月		" 6 月		" 7 月		" 8 月		" 9 月		" 10 月		" 11 月		" 12 月	
	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無
	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料
	0	2	0	2	15	0	0	0	2	0	5	0	5	0	0	0	2	0	4	0	6	0	4	0

有料	
3 月……第二りん酸カルシウム（15）	9 月……ヤクルト（2）・
5 月……脱脂粉乳（2）	1 0 月……ヤクルト（2）・強化内精麦（2）
6 月……第二りん酸カルシウム（5）	1 1 月……ヤクルト（2）・鯉みそ（4）
7 月……第二りん酸カルシウム（5）	1 2 月……ヤクルト（2）・強化内精麦（2）
無料	
1 月……水稻梗（2）	〔計〕 有料……4 3 件
2 月……水稻梗（2）	無料…… 4 件

(以上 実戸技師記)

(F) 成人病科の業務実績

昭和42年度も業務としては成人病のうち高血圧検診、脳卒中後遺症者調査、およびこれに附随する試験研究であつた。高血圧検診は県内2ヶ所において行われたが、すべて継続事業であつた。事業の概要を述べると次のようで、検診成績は43年度所報に報告することとなる。

(1) 本荘市石沢地区における検診実績

(地区の半分だけで、残半分は来年度において行う予定である。)

集団検診実施地区 本荘市石沢
 集団検診実施日時 昭和42年7月3日～
 同年8月5日

(1) 石沢地区実態調査実施状況

検診人員614名

日 時	曜日	実施場所	対象部落名	受診人員		男		女	
7月31日	月	山内公民館	三方森 大築 山内	118名	76.9%	52名	75.4%	61名	78.2%
8月1日	火	鳥田目 "	鳥田目 一本木	100	68.5	32	52.5	68	80.0
2日	水	出張所(館)	柳生 湯沢	110	71.0	54	77.1	56	65.9
3日	木	鮎瀬公民館	新田 本田	164	68.8	75	67.6	89	69.0
4日	金	"	櫛引 鳥川	104	71.2	39	60.0	65	80.2
5日	土	出張所(館)	後遺症者 各部落は後遺症受診者をも含む						
計				591	70.9	252	67.0	339	74.0

(注) 対象部落外受診人員23名を含む

(2) 南秋田郡井川村における検診実績

集団検診実施日時 昭和42年11月6日～
 同年11月11日

検査項目 1. 問診 検診人員全員に実施1,139件

2. 身長及び体重 〃

3. 血圧測定 〃

4. 血液比重 〃

5. 血清コレステロール 〃

6. " 蛋白 〃

7. 心電図 〃

8. 眼底撮影 〃

9. 検尿(蛋白・糖) 〃

10. 電気漏紙泳動法による蛋白分画測定150件

計1,2679件

(2) 井川村実態調査実施状況 (検診人員525名)

月 日	曜日	会 場	検診人員	男	女
11月6日	月	東小学校	68	31	37
7日	火	"	98 166	46	52
8日	水	"	123 294	77	51
9日	木	西小学校	82 376	49	33
10日	金	"	70 446	41	29
11日	土	"	79 525	38	41
合 計			525	282	243

(注) 未実施者及び脳卒中後遺症者を含む。

以上検診の詳細については昭和48年度分に併せて報告するが、そのうちでもまとまったものについては研究篇に掲載した。

以上

成人病科 船本章悦技師
今野 宏技師